

1 申請者の情報		申請年月日	2024年 10 月 4 日
フリガナ	ハナミヤイン	住所・所在地	〒 758 -0074 山口県萩市大字平安古町305-3
医療機関の名称	花宮医院		

2 病床削減の概要(予定含む)

<許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計※2
1	①平成30年度病床機能報告における許可病床数	0	16	0	0	0	16	16
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその許可病床数 ※1							

※1 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は「1②」は記載不要(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

<稼働病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
2	①平成30年度病床機能報告における稼働病床数	0	13	0	0	0	13	13
	②平成30年度報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更があった場合はその稼働病床数 ※3		10				10	10

※3 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「2②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

<病床削減後の許可病床数>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分の合計
3	病床削減後の許可病床数	0	6	0	0		6	6

<他の医療機関との病床融通>

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
4	他の医療機関との病床融通数 ※4	0	0	0	0	0

※4 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転しようとする場合に記載すること。

また、「(参考)病床移転にかかる概要」に関連する病院等の病床数を記載すること。

<対象3区分から回復期又は介護医療院へ転換した病床数>

		回復期	介護医療院	合計
5	削減病床のうち、回復期又は介護医療院へ転換した病床数	0	0	0

<年間在棟患者延べ数(人)>

		高度急性期	急性期	慢性期	合計
6	①平成30年度病床機能報告における対象3区分の病棟の年間在棟患者延べ数(人) ※5	0	2,795	0	2,795
	②令和2年4月1日時点年間在棟患者延べ数(人) ※6・7				

※5 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)×12÷報告可能な対象期間(月単位)

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成29年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

※6 令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合(「1②」が記載不要となる場合)は「6②」は記載不要

(令和2年4月1日時点での変更は除く)

※7 令和元年度病床機能報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数に変更がない場合は令和元年度病床機能報告の数値を計上すること。

変更がある場合は、変更後令和2年4月1日までの在棟患者延べ数を※5を参考に算定して計上すること。

3 病棟別内訳(予定含む)

【変更前の状況(R2.4.1まで)】

変更前	病棟別内訳 (病床機能報告から転記)	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	稼働病床数
		①	有床診療所入院基本料1	急性期	16床	10床
		②				
		③				
	計				16床	

※ 平成30年度の病床機能報告を転記することを原則とするが、平成30年度の報告後、令和2年4月1日までに機能別の病床数等に変更がある場合は変更後の病床数等を記載すること。



【令和6年度】

【令和6年度】						
R6 年度	病棟別内訳	病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
		①	有床診療所入院基本料1	急性期	6床	R7年 3月
		②				年 月
		③				年 月
計					6床	



【令和7年度以降】(変更がない場合や計画が未定の場合は、「以後変更なし」「未定」等と記載のこと)

		病棟の名称	算定する入院基本料 ・特定入院料	病床機能	許可病床数	変更(予定)時期 ※変更がある場合
R7 年度	病棟別内訳	①	未定			年 月
		②				年 月
		③				年 月
	計				床	
R8 年度	病棟別内訳	①	未定			年 月
		②				年 月
		③				年 月
	計				床	

※病棟別内訳の数が不足する場合は適宜追加すること。

※計画完了時には「休棟等」がすべて削除され、存在しない状態となっていること。

病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

対象医療機関名 花宮医院

1 地域の状況		
地域の現状と課題	救医療圏について、地域医療構想の必要病床数と令和5年度病床機能報告を比較すると、急性期と慢性期の病床が過剰である一方、回復期病床が不足している。 また、課題とされる二次救急医療への対応や医療従事者の高齢化・不足等にも対応するため、中核病院の形成に向けた検討が進められている。	
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)	病床機能については自宅での急変時の対応を中心とした急性期の提供体制を維持している。そのニーズは徐々に減少傾向にある一方、外来機能は小児科を中心に職員の配置等更なる維持の強化の必要性がある。	
病床数の見直し	見直しの考え方	自院の役割・機能に変わりはないが、人口の減少及び夜間勤務の医療従事者の確保の困難さは続いているため、当院の病床数を見直した結果、適正と判断した6床を維持していきたいと考えている。
	対象の病棟・病床の概要	診療所入院基本料1 自宅で急変した患者や術後の患者が主である
	入院患者への対応	徐々に入院を減らして調整するが現状から判断すると大幅な患者への影響はないと思われる。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	地域の医療機関との役割分担を踏まえ、病床数を適正な数に見直し、医療従事者等の医療資源を小児科を中心にした外来機能に集約することは、地域医療構想の実現に資するものと考えている。	

【参考】対象区分別の削減(計画)病床数

対象区分	R6	変更時期	R7	変更時期	R8	変更時期	計
高度急性期							
急性期	△ 10	R7.3					△ 10
慢性期							
合 計	△ 10						△ 10

※複数年度に渡る削減を予定している場合は各年度に削減(計画)病床数を記載

【参考：R5病床機能報告(萩保健医療圏の状況)】

病 床 区 分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①R5 (2023)現状		246	57	428	58		789
	②R7 (2025)予定		304	57	428			789
構想	③R7 (2025)必要数	24	178	181	232			615
④構想との差(R5) (①-③)		△ 24	68	△ 124	196			116
⑤構想との差(R7) (②-③)		△ 24	126	△ 124	196			174